新型コロナワクチン情報

問い合わせ　草加市新型コロナワクチンコールセンター
☎0570-666-578
㊏㊐㊗を含む午前8時30分～午後5時15分

令和5年度も、自己負担なしで新型コロナワクチンを接種することができます

重症化予防を目的に年1回の接種が基本

～5月7日　5月8日～8月31日　9月～12月

前倒し

現在の追加接種
対象：初回接種を完了した5歳以上の人のうち、オミクロン株対応2価ワクチンを未接種の人

重症化リスクの高い人等
対象：65歳以上の人、基礎疾患がある人、医療・介護・高年者施設等の従事者

初回接種を完了した5歳以上の人

重症化リスクの高い人等（2回目）

●5月7日まで
令和4年秋開始接種

・この接種を未接種の場合、**令和5年春開始接種の対象者ではない人は、5月8日～8月31日の間は接種ができません**（小児(5～11歳)を除く）。
・5月はGWで休診の医療機関が多いため、接種希望者は4月中の接種を。

●5月8日から開始
令和5年春開始接種

・重症化リスクの高い人等を対象に、前倒しでの接種を実施。
※対象者以外は接種ができません。
・オミクロン株対応2価ワクチンを使用。

詳細

●9月から開始
令和5年秋開始接種

初回接種を完了した5歳以上の全ての人を対象に実施（令和5年春開始接種をした人は2回目の接種）。

接種間隔はいずれも前回接種から3か月以上

初回接種(12歳以上・小児・乳幼児)は年間を通じて実施

接種券が届いた接種対象者は予約ができます

・令和4年秋開始接種（令和4年9月26日以降のオミクロン株対応2価ワクチンでの接種）が完了してから一定期間が経過した**12歳以上の人に送付します。**
※令和5年春開始接種の対象者ではない人も、令和5年秋開始接種で接種券を使用しますので、大切に保管してください。
・令和4年秋開始接種を未接種の場合、既に手元にある接種券をそのまま使用できます。
・接種券を紛失した人や、新たに転入してきた人は、申請が必要です。

■接種券到着目安

令和4年秋開始接種完了時期	接種券到着目安
令和4年11月20日まで	令和5年4月18日㈫～21日㈮
令和4年11月21日～12月10日	令和5年4月25日㈫～28日㈮
令和4年12月11日～12月末	令和5年4月28日㈮～5月2日㈫

予約方法	12歳以上	予約システムまたはコールセンター
	5～11歳	医療機関への直接予約

予約操作支援窓口を再開します

期間：4月19日㈬～5月19日㈮（平日のみ）
持ち物：接種券付き予診票・本人確認書類

市役所西棟1階	午前8時30分～午後5時
文化センター（新里、谷塚、新田西、川柳）	午前9時～午後5時

問新型コロナウイルス対策課☎922-1839FAX927-0501

バドミントントップアスリート試合観戦＆講習会

市内に練習拠点を置くヨネックスバドミントンチームを中心とした女子実業団チームと高校生以上の若手トップ選手が集う大会の観戦と講習会。

試合観戦
■日時　5月3日㈷　午後1時～7時
5月4日㈷　午前9時～午後7時
5月5日㈷　午前9時～午後3時
5月6日㈯　午前9時～午後7時
5月7日㈰　午前9時～午後2時
■定員　各100人

講習会
■日時　5月5日㈷　午後3時～4時15分
■対象　小学4～6年生　**■定員**　100人
■持ち物　運動しやすい服装、室内靴

申4月6日㈭から電話で草加市スポーツ協会へ。
☎928-6361FAX922-1513

山里の春を感じよう！ 昭和村春の体験ツアー参加者募集

問文化観光課☎922-2403FAX922-3406

姉妹都市福島県昭和村を訪ね、草加では味わうことのできない自然体験を通して、村民との交流を深めましょう。田植え体験や矢ノ原湿原散策、喰丸小見学などを予定しています。

■日時　5月20日㈯～21日㈰
■対象　市内在住・在学者
（高校生以下は保護者同伴）
■定員　30人程度（1組5人まで）
■料金　（いずれも宿泊料、2日目昼食及び各体験料を含む）

昭和温泉　しらかば荘	中学生以上　1万6360円
	小学生以下　1万　420円
	※1人利用は2000円加算
民宿　松屋	1万1300円

申4月19日㈬（必着）までに、ファクスまたはメール（QRコード）で希望宿泊施設、参加者全員の住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、電話番号を文化観光課へ。重複応募は無効。申し込み多数の場合は抽選。抽選結果は当選者のみに4月26日㈬以降に旅行会社から通知します。

できごとまちかど　3月

19日　福祉+プラスのまちづくり講演会

障がいのある人もない人も、共に過ごし楽しめる「場づくり」や「地域づくり」について、参加者と一緒に考える同講演会。実際に数々のプロジェクト活動をしてきた講師の藤本遼氏の講演のほか、福祉に関係するゲストとのトークセッション、講演を聞いて興味を持ったことなど、様々なテーマでの参加者全員のグループセッションが行われました。グループセッションでは活発な意見が飛び交い、会終了後も話は尽きない様子で、参加者同士の新しい交流が生まれました。